鎧橋随想

（順不同）

天泣（てんきゅう）

日進貿易
社長　太田　幸作

日々移り変化する海、一刻たりとも止まらぬ様々な波紋。私は幼い頃から海に接することが一番の楽しみでだった。今でも時間があれば、小樽港内にあるマリーナより船を出港させて沖海に躰を委ね、陸地に目を向け、「自分は今、海面に浮かんでいる」と風景鑑賞の一瞬・一過を玩味している。

先日、久しぶりに夕暮れの海を満喫していたところ、あまりにも天晴れな空を見て、満天の星空も見たくなり、船舵をさらに沖へ向けてデッキで涼風に触れていた時、頭上の空には全く雲はないのにポツンと雨が顔にあたった。

もしかしたら、青空が泣いている天泣現象ではなかろうか。雲のない空から雨が降ること（中国で清雨と呼ばれる）などまずない。では天泣はなぜ起こるのだろうか。理由はいろいろだが、遠い雨雲から雨滴が風に飛ばされてくるとか、雨滴が地上に落ちる前に雨雲が消えた等が考えられる。

ところで最近は、都心部でも天泣に似た現象が見られる。ビル街を歩いていると晴天なのに顔に水滴が当たることがある。ビルの冷却塔などからの水滴がビル風に飛ばされてくるのだ。これは、どうやら現代文明のビル泣なのかもしれない。

「趣味と実益」が一番

メビウストレード
専務　長尾　純一

一般的に「仕事が趣味」と言いますと、滅私奉公とか無趣味で仕事人間というイメージを受けるのではないでしょうか。

しかし、私は勝手に「仕事が趣味」という言葉を自分の趣味の延長線上に仕事があると解釈しています。自分の好きなことが仕事として出来るということは素晴らしいことではないかと思っているからです。

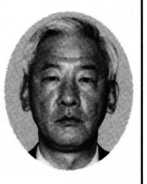
今、自分自身が趣味と言えますのが水泳です。私の趣味と関連して「仕事が趣味」と言い切るためには、当社に水泳部を設立してコーチに就任し、優秀な人材を選出することが必要となります。とても、北京オリンピックには間に合いません。

ですから、仕事は仕事、遊びは遊びと割り切ってメリハリをつけた行動を心がけています。趣味が水泳というと、地味な感じがしますが、健康管理には一番よいと思っています。

したがいまして「趣味と実益を兼ねる」という言葉を使わせていただいています。若い人たちに負けない気力と体力を維持するためにも、さらに一層「趣味と実益を兼ねた」行動に磨きをかけ、中年パワーを見せ続けるつもりです。

コスモス

パンタ・レイ証券
社長　塚本　淳三



先日、郊外を車で走っていると、すっかり色づいた田圃の傍らに、コスモスの花が咲いていた。この季節、日本全国どこでも見られる秋の里の風景であり、私の幼い頃からの記憶の中にある原風景である。

コスモスは、漢字では秋桜と書くが、どう考えても外来種であろう。調べて見ると、原産地はメキシコの高原だそうで、コロンブスの新大陸発見か、ピサロのメキシコ征服の際に、その種をスペインに持ち帰り、その後ヨーロッパから世界に広がったそうである。

日本には、諸説あるが、どうも幕末頃に入って来たようである。

最近は花屋でも、見慣れない凡そ日本の花らしくない花が随分増えた。世界中から、続々と新しい花が持ち込まれているようだ。

そう言えば、動物の世界でも、固有種とか在来種の分が悪いようである。淡水魚の世界でも、ブラックバスやブルーギルが、日本中の湖や沼で繁殖し、在来種を駆逐しつつあると聞く。

どうやらこの現象は、生態系ばかりではなく、あらゆる面で、特に経済では急速に拡大している。因みに、コスモスは、ギリシャ語で宇宙の意、調和というのだが……。

『四月の雪』を観て

大起産業
取締役　坂井田　隆弘

『四月の雪』を観て来た。シネマコンプレックスで、お客は約30人、封切りの翌日で、この人数は意外だった。ペ・ヨンジュンは、出演する作品を慎重に選ぶというが、なぜこの映画に出演したのか、今の私にはわからない。

ドラマ『ホテリアー』のペ・ヨンジュンはどのシーンの衣装もキマっていた。『四月の雪』はラフなスタイルだったが、品があった。

片やドラマ『美しき日々』のイ・ビョンホンは、ネクタイが似合わないと思った。会社を追われてからのラフなスタイルの衣装はさらに、「……」だった。

誰の意向が反映された衣装だったのか知る由もないが、ドラマ「オールイン」のイ・ビョンホンはカッコイイ。この作品の衣装はどれもスンナリ私に入ってくる。ストーリーも気に入っている。

韓流ドラマや映画を観ながら、俄か服飾批評家になっている私だが、鏡に映った自分には「こんなものだろう」と緩い評価で、今日も出かけていく。長年、連れ添った我がBODY、点数も甘くなる。そうそう、中年期を過ぎると男性は女性化し、女性は男性化すると言ったのは、ユングだったか。もしそうだとすると、韓国映画について足を運んでしまう私はオバサン化しているということか。

郷里を想う

エース交易
執行役員　石田　耕一

出身高校の同窓の先輩が出版された小説を読む機会があった。物語の舞台は鶴の飛来地として有名な鹿児島県出水市近辺の不知火海に面した農漁村地域。時代は昭和10年代後半の戦時中のこと。青少期の主人公たかしが成長していく過程で交流していく人と地域の情景が私自身の青少年期に記憶の奥に刻まれたものと二重写しになり、真に懐かしい感情に満たされました。

5歳のたかしが祖母のかねばあに預けられて暮らす2年間、すぐに出来た友達、深まる友情と絆。祖母が大切に育て続けた蚕が部屋一杯にまぶしいばかりのまゆの花と咲いた朝、大切な幼く優しき友が死んだ時のたかしの悲しみ。やがてやって来た友や祖母との切なき別れの時。実家に戻って始まった新生活。押し寄せる戦争の波、優しき水口先生の戦地招集と1カ月後の死。B29の大群来襲の恐怖と悲惨、そして終戦。

60年前の8月、10歳で終戦を迎えた筆者が描いた情景は、平和であることの幸せと大切さを伝えるメッセージと感じました。誰にとっても、自分を育んでくれた大切で懐かしき人と郷土が心の奥の深い所でかけがえのない安心の拠り所となっていることを感じ、とても幸せな気持ちになりました。

一杯の「うどん」から

アルフィックス
取締役　河原　和男

私の故郷香川県は全国最小の面積ですが、風光明媚な自然に恵まれ、産業は県花のオリーブを始めうどん、手袋、冷凍食品等は全国一のシェアです。特に空海（弘法大師）が伝えたとの説もあるうどんは生産量4億3，000万食を誇り、「さぬき」ブランドを確立しています。

先日、実家への墓参りと「さぬきうどん」巡りを兼ねて故郷へ帰りました。目指すうどん屋は田畑広がる中にあります。平日にも拘らず殆どが他府県ナンバーで、真夏の炎天下の沿道には麦わら帽子や日除け傘がおいてあり、駐車場の警備員が汗だくで訪れる人たちや車を整理誘導していました。おそらく毎日がこの光景なのでしょう、高い人気に驚きました。

並んだ甲斐があり、味と値段に大満足しましたが、この手打ちの味わいと奥の深さは一朝一夕にはできません。作る人たちが心で感じ、体で覚え、気持ちで伝える部分があるからこそ多くの人を魅了するのだと思いました。先人が育んできた良きもの、大切なものを親が子、孫へと伝えていくのと同じです。

我々の仕事も時代の波を吸収し、便利さや合理性を享受しつつ、信頼と安心を定着させ、次の世代に良き伝統、文化を残せればと考えております。

拝見　東穀取の屋上庭園

植栽は26種類に及ぶ

「花と緑の町作り」の一環として衣替え

東京穀物商品取引所の屋上庭園ができたのは昭和62年11月、現在のビルが竣工した時のことだ。前のビルは東京の建物100選にも名を連ねるほどの名建築であったが、今のビルは屋上庭園が売り物の1つ。都心の緑化推進の一翼を担って登場した。

ところが築後15年経つと屋根の防水設備の劣化が目立ち、昨年全面的に作り変えられた。これは予想外の大工事で半年掛かりだった。休日を利用しての作業だったので、担当の白石総務部次長はこの間休みなし。入れ替えた土の量が100トンにのぼったというから4トン積みトラックにして25台分に相当する。

「以前の植栽は緑が中心で、彩りが少なかったが、今回はほぼ1年を通して季節の花を植えています。そして、建物側には玉砂利を淡路島から7～8トン取り寄せ、敷き詰め、窓ガラスから植栽をなるべく離して配置しました」

従来は、北向きの植栽は日照不足、南向きは照り返しが激しく夏場には水が熱されてしまい、どちらも枯れやすいという難点があったが、それが解消された。今回は中央区の推進する「花と緑の町作り」事業の一環として行われ、公的資金50万円が助成された。

庭園の総面積は213平方メートルで、4カ所に分かれているが、植栽は合計26種類に及ぶ。ツツジ、アベリア、ユキヤナギ、ヒメウツギ、ロンセラ・ニティダ、ビンカミール、ツワブキ、カンツバキ、コデマリ、ハイビャシン、フツキソー、アガパンサス……などほぼ1年中、花を楽しめる。「サルスベリの木に蟻が巣を作り、花がつかなかった」と白石さんは残念そうだった。

自動撒水装置も導入され、朝夕、一定の時刻になると水が流れだし、植栽たちも渇きを癒すことができる。

庭園の紋どころにはイオニア様式の柱頭が飾られている。これは以前のビルの玄関にあったものだが、「夕刻からはライトアップされると、とても綺麗ですよ」と白石さん。

この屋上庭園は残念ながら一般には開放されていないが、会員の皆さんはぜひ一度、目の保養にいかが。

新会員　マネックス・ビーンズ証券

先物協会は9月13日の理事会で、新会員としてマネックス・ビーンズ証券株式会社（東京都千代田区丸の内1丁目11番1号、代表取締役社長　松本大）の加入を同日付で承認した。

同社は東京工業品取引所の貴金属市場と石油市場の取次ぎ業務を行う。

事務局だより

商品業界に入って十数年。以前は、「仕事は何？」と尋ねられても、なかなか上手く説明できないことがありましたが、先日、知人から同じ質問をされた時、「商品取引所法に基づくわが国商品先物取引制度の改善や、商品先物取引についての啓蒙活動を通じて、国民経済の健全な発展を図る仕事」と、敢えて判りにくいような言い回しをしてみました。

すると、意外にも、その知人からは、「何かカッコよさそうな仕事だね」との反応が返ってきました。

今、「商品の時代」が到来したとも言われています。現場の最前線に出て間もない新人の方々も、「商品先物取引は国民経済の健全な発展を図る制度である」とのプライドをもって、正々堂々とお客様に接していただきたいものです。